

医薬品の適正使用のための情報の収集・評価、共有化に関する研修会

—薬物治療における安全管理のために— 研修会開催のご案内

共催：独立行政法人 医薬品医療機器総合機構、公益財団法人 日本薬剤師研修センター
 後援(予定)：厚生労働省、公益社団法人 日本薬剤師会、一般社団法人 日本病院薬剤師会、
 一般社団法人 日本保険薬局協会、日本製薬団体連合会

平成 27 年 10 月「患者のための薬局ビジョン」が公表され、「薬局は患者のために、対物業務から対人業務への転換」の必要性が示され、平成 28 年度診療報酬改定において「かかりつけ薬剤師・薬局」としての評価、さらに平成 30 年度改定において夜間・休日対応や医療機関等への服薬情報提供など、地域包括ケアシステムの中でかかりつけ薬剤師が機能を発揮して地域医療に貢献する薬局を評価することとされました。

この中で、これらの薬局は他機関の医療従事者等に対して、医薬品にかかる医療安全に資する情報の共有に必要な体制が整備され、一定の実績が求められることとされました。また、医療機関内においては、従前より、医療安全対策加算の算定要件として薬剤師の業務が評価されています。

このような状況を踏まえ、本研修会においては医薬品情報の収集と評価、多職種との情報共有に必要な知識の習得、さらに法令で求められる当局への報告制度などを学ぶことを目的とした研修会を企画いたしました。

◆開催日・会場・定員(研修センター賛助会員を含む)：※受付は先着順で、定員になり次第締め切ります。

日程	会場	定員
2018 年 9 月 30 日(日)	発明会館ホール (東京都港区虎ノ門 2-9-14)	250 名

◆プログラム(予定)：※プログラムの順番・講師等は変更される場合がありますので、ご了承ください。

時間	演題	講師(敬称略)
12:20~12:30	挨拶	日本薬剤師研修センター 豊島 聡
12:30~12:50	薬局・薬剤師を取り巻く現状及びビジョン実現に向けた国の取組	厚生労働省大臣官房 審議官(医薬担当) 森 和彦
12:50~13:25	医薬品開発の国際化と臨床試験データ評価の重要性	北里大学大学院薬学研究所 教授 成川 衛
13:25~13:55	医療安全情報の収集に向けた体制整備について	厚生労働省医薬・生活衛生局 医薬安全対策課課長 佐藤 大作
13:55~14:10	医療安全情報の共有化と地域支援体制加算の新設について	厚生労働省保険局医療課 薬剤管理官 中山 智紀
14:10~14:45	薬の副作用が副作用と呼ばれるまで —提供される副作用情報への向き合い方—	日本製薬工業会データサイエンス部 会 部会長 小宮山 靖
15 分	休憩	
15:00~15:30	重篤副作用疾患別マニュアルの改定について	厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課安全使用推進室長 江野 英夫
15:30~16:00	医薬品医療機器法に基づく副作用・感染症・不具合報告の現状と安全対策について	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 安全第二部長 近藤 恵美子
16:00~16:35	薬局・薬剤師の機能を活用した副作用報告の推進について	東京薬科大学薬学部薬事関係法規 室 教授 益山 光一

※受付は 11 時 30 分より行います。(事前申込なしの当日申込受付は行いません。)

◆ 申込方法：

1. 研修センターホームページから「薬剤師研修支援システム」に入り(ログイン)、「新規登録(個人情報登録)」がまだの方は新規登録の手続きを行って下さい。すでに登録済みの方は、「受講者用ログイン画面」にログインしてください。
2. 「研修会受講申込」メニューをクリックして検索画面を開き、研修会種別「**日本薬剤師研修センター主催研修会(座学)**」を選んで検索して下さい。「開催研修会一覧」が表示されます。
3. 本研修会の「詳細」をクリックし、表示される画面に従い、申込(受講料納入)手続きを行って下さい。

◆ 受講料(講演要旨集代込)：※本研修の講演要旨集は、当日配布となります

一般：6,480 円 (本体 6,000 円、税 480 円)

当センター個人賛助会員：5,400 円 (本体 5,000 円、税 400 円)

なお、お申込み完了後の受講料の返金はいたしませんので予めご了承下さい。

(※ 研修センター個人賛助会員の方は次記の【注】をご確認の上、お申込みください。)

◆ 受講票について：

「薬剤師研修支援システム」で申込完了後に、ご登録のメールアドレス宛に届く「研修会受講申込を受け付けました」というメールが受講票となります。研修会当日は、このメールを印刷して、必ずご持参ください。

◆ その他ご注意ください：

- ・当日の昼食は各自でお願いします。なお、会場内での飲食は可能 ですが、ゴミはお持ち帰りますようお願い致します。
- ・公共の交通機関をご利用下さい。
- ・写真・ビデオ撮影および録音は固くお断りします。
- ・温度調節が可能な服装でお越し下さい。
- ・キャンセルは原則お受けいたしません。また、当センターからの領収書は発行致しませんのでご了承願います。

◆ 修了報告について(単位取得方法)：

本講義研修会は研修会終了後、7 日間以内(厳守)に「薬剤師研修支援システム」で「修了報告」をすることによって、修了証や研修認定薬剤師制度上の受講単位(薬剤師のみ)を取得することができます。

「薬剤師研修支援システム」にログインし、「研修会修了報告」メニューをクリックし、研修会当日に配布される「受講証明書」の修了パスワード等必要項目を入力してください。支援システム上に修了証・受講単位が表示されますので、お手持ちのプリンターで印刷してください。

ご注意ください

【注】日本薬剤師研修センター 個人賛助会員の方々へ

事前に、「薬剤師研修支援システム」へ個人情報の新規登録(1 回のみ)を行って下さい。

「個人賛助会員番号」および「有効期間」は、賛助会員証が届いてから 1 ヶ月以内もしくは支援システム新規登録後 1 ヶ月以内に、自動的に支援システムに反映されます。支援システムにログインし、「個人情報更新」メニューより確認をお願いします。

有効な研修センター個人賛助会員として登録しているにもかかわらず、「個人賛助会員番号」および「有効期間」の情報が更新されていない場合は、支援システムに登録されている「氏名(フリガナ)」、「生年月日」、「薬剤師名簿登録番号」に相違がある可能性がありますので、「個人情報更新」メニューよりご確認いただき、修正をお願いします。

その後、研修センターあて、メールにて個人賛助会員番号および期間更新の依頼をしてください(メール本文に、氏名・フリガナ・生年月日・薬剤師名簿登録番号・個人賛助会員番号も記載してください)。

本研修会お申込の際は、「薬剤師研修支援システム」にログインし、「研修会受講申込」メニューをクリックして検索画面を開き、研修会種別「**日本薬剤師研修センター主催研修会(座学)**」を選んで検索してください。表示された「開催研修会一覧」より本研修会の「詳細」をクリックし、**受講料が賛助会員価格となっていることを確認**してお申込手続きを完了してください。

なお、お申込み後の受講料の変更はお受け致しておりませんので、何卒、ご注意の上お申込みください。